

調査年月日	調査対象	調査者	区分	確認者
R5 年 8 月 1 日	会社名 株式会社日本フードエコロジーセンター	所属 全食リ連 担当者名 中島 浩	更新審査	高橋巧一
実施確認の 結果評価	評価 適合 ・不適合			

調査年月日には実際に調査した日付を記入すること
調査対象欄には 調査対象の会社名を記入すること
調査者には、審査人の名前を記入すること
実施確認の結果評価については、不適合が出た場合、適合するまでは是正すること

1. 昨年度実績			関係書類	メモ
原料受入量	一般廃棄物	1,374 トン／年（許可 4,745 t / 年）	管理システム（環境ナビ）から抽出データ	容器毎に計量、マニフェストは無
	産業廃棄物	11,006 トン／年（許可 13,140 t / 年）	管理システム（環境ナビ）から抽出データ	容器毎に計量、マニフェスト有
	有価物	362 トン／年	管理システム（環境ナビ）から抽出データ	
	合 計	12,742 トン／年	管理システム（環境ナビ）から抽出データ	
飼 料 製 品 製造量	FE 飼料 A : 5,110.0 トン／年（製品別に記入） FE 飼料 B : 9,327.2 トン／年		FE 飼料 2022 年度末締め出荷量 ＊製造日報および物品受領書（出荷伝票）より算出	出荷量をロードセル計測 出荷量＝製造量
飼 料 製 品 販売量	同上		同上	
自 社 消 費 量	0 トン／年		該当せず	

2. 遵法		適合	不適合	適用外	関係書類	メモ
法対応	事業範囲・許可条件の遵守（住民協議等含む）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事前協議書、変更許可申請書、使用前検査済証	現在改造中、フロー図添付 変更許可済み（ミニアセス実施）
許可証	一般廃棄物・産業廃棄物処理施設許可証の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一般廃棄物処理施設設置許可証	能力はタンク量（9t×4 基=36t/日）24h 許可 加水は含まない
	同上許可の表示の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工場 1 階に掲示（処分業の許可について）	
	一般廃棄物・産業廃棄物処分業許可証の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各許可証（ファイル保管）	
	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業許可証確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	産業廃棄物収集運搬許可証	産廃 12 件
	産業廃棄物処分業 優良認定の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
登録証	再生利用事業者登録証の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	登録証	
	同上登録の表示の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工場 1 階に掲示（実地確認）	
公定規格	飼料公定規格 原料名・品質の確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	該当なし	
認証証	エコフィールド認証証の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	FE 飼料 A、FE 飼料 B	A は炭水化物 B は総菜を主な原料とし時間差で製造
	同上認証の表示の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	会議室に掲示	
届出	飼料製造届出書類の確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	再生利用事業者登録連動	※過去の届け出の要確認 飼料製造管理者届との関連確認
委託契約書	委託契約書の保存管理状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	契約書（契約書ファイル）	五十音順に整理
	委託契約書内「食品残さ等利用飼料の安全性の確保のためのガイドライン」遵守項目の有無の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	契約書 （契約書中の記載を確認）	ガイドラインの HP アドレスを教えている
	マニフェスト伝票、帳簿の記載・整備の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	マニフェスト（直近はファイル、過去分は書庫に排出事	原料を毎日回収しており、マニユフェストは前日分を翌日に

					業者ごとに 5 年保管)	返却している。当日処分、2 日後に最終処分としている。 (加熱終われば有価物扱い) 投入調整はある。
計量器 ※ 1	計量法に定める特定計量器検査規則に合格した計量器及び検査合格証の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	検査票 (2 年ごとに実施)	前回は令和 3 年 7 月に実施。 7 月 31 日に計量機を新調済み (検定付き)。
環境影響測定 ※ 2	騒音・振動・悪臭・排ガス等の測定頻度の確認、計量証明書の確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受入れ量や品目等に大きな変動がある場合等、環境影響評価が必要と認められる場合に実施	産廃受入れ量の変更許可申請を行った際 (平成 30 年) に、臭気測定を実施。排水はグリストラップ後に下水。測定義務なし。

3. 原料受入から飼料販売 (および残渣物・廃棄物処理)		適合	不適合	適用外	関係書類	メモ
「食品残さ等利用飼料の安全性の確保のためのガイドライン」を遵守した飼料製造・社員教育等の現場の確認		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特になし (朝礼・部門会議で口頭にて実施)	誓約書の実施。雇い入れ時の教育で、理念や不正転売なども周知。
原料受入	原料受入量 (一般・産廃別) の帳簿の確認 (排出事業者毎の日合計・月合計・年合計)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日報・管理システム (環境ナビ) 抽出データ	残渣の種類も集計可能
	原料の保管状況、原料の腐敗、かびの発生、ハエ等虫や異物混入の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特になし (現地目視確認実施) 不適合物があった場合はメール等で報告	条件を契約時に説明 (担当者変更時も)
	原料受入容器の使用状況、保管、洗浄等の確認 (蓋付き容器の使用、害獣、害虫対策の状況)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収集運搬業者ごとに容器置き場を設置。 業者に依頼し、毎月害虫駆除を実施。	容器は都度洗浄を実施 害虫駆除も実施
飼料製造 製品保管	標準作業指示書、手順書等の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業マニュアル	写真付きのマニュアルを作成、社員間で共有しながらブラッシュアップしている。雇い入れ時のマニュアルもあり。(危険防止や服装など)
	飼料業務管理規則書、体制等の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	飼料製造業務管理規則、会社組織図	改定記録も記載。分析等も規則通りに運用
	処理工程図及び現場処理工程の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工程図、平面図、申請書参照	
	製品の保管状況の確認、害獣、害虫対策状況	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地目視確認、害虫駆除結果報告書	害虫駆除の会社が毎月対策、報告書有
	飼料製造管理記録簿等の確認 (原料に肉類が入る可能性のある場合は熱処理記録の確認)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	飼料製造日報、SD カード	新加熱処理基準 (攪拌しながら 90℃60 分以上) に沿ったデータを記録 媒体で保存 90℃60 分がデフォルト設定。数段階の規定を設け、状況に合わせて設定を手動変更。※手動時は条件完了が人為的なので、インターロックを検討。(但し、手書きも記録しダブルチェック体制確立)
	プラント衛生管理マニュアル、記録簿、現場状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	清掃日程記録表	設備管理と含めて毎日チェック (業務完了時にリフトも清掃していた)
	プラントメンテナンス手順及び記録簿等の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業マニュアル、プラント機器類点検表	同上
飼料販売	飼料販売先との契約書の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	契約書、覚書	出荷 13 件 全件契約書
	飼料販売計画・出荷指示書等の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配車予定表、指示書	月間計画として綿密に作成し、製造予定量から出荷量調整している
	出荷時における表示票発行の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	納品書、表示票	納品時に添付 個別要望にも対応
残渣物 廃棄物処理	原料受入、製造工程発生残渣物処理のフロー、帳簿 (マニフェスト)、保管場所の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	処理工程フロー図、マニフェスト他	グリストラップ内の汚泥は定期的に業者に回収を依頼 原料不適は 1 %程度。廃ブラも焼却。

4. 飼料製品品質管理・成分分析		適合	不適合	適用外	関係書類	メモ
品質管理	飼料品質管理規則書、体制等の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	飼料製造業務管理規則、組織図	品質管理は施設管理規則に入っている
	製品毎に品質基準 (成分、外観等) が定められ定期的にチェックがされているか? (分析結果の確認等)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	飼料品質基準表、水分率記録、分析記録	水分・PH を毎ロット PH は記録なし (バッチごとに原料選定)
	表示票の内容に不備、齟齬がないか?	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	表示票	
	安全性 (サルモネラ・病原性大腸菌他) に対する定期的な検査が行われているか?	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	分析記録 (エコフィード分析結果)	

	品質不適合品発生時の対応及び記録方法が定められているか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危機管理マニュアル、飼料品質基準表	BCP マニュアルとして幅広く作成
	ｸﾚｰﾑ発生時の対応方法と記録方法が定められているか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	危機管理マニュアル、報告書	
	飼料添加物の使用記録がされているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	飼料製造日報	飼料・出荷先ごとに添加量の規定有り
	成分分析機器等の校正確認（社内分析の場合）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	該当なし	
家畜伝染病 予防対策	製品出荷車両、容器の消毒マニュアル、実施状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	消毒マニュアル	車両運転記録表に記載
	家畜伝染病予防及び発生時の対応マニュアル、消毒剤（石灰等）の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事故発生連絡先一覧（事務所）、緊急連絡体制表、消毒設備現地確認	
資格	飼料製造管理資格者がいるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高橋巧一（代表取締役）	飼料製造管理者届 プロピオン酸添加及びプレミックス添加

5. 農林水産省・環境省、経済産業省等による認定、確認		適合	不適合	適用外	関係書類	メモ
認定	食品リサイクル法「再生利用事業計画」の認定件数及び認定書の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2 件（現在更新・変更申請中）	
確認	農林水産消費安全技術センターによる「食品残さ等利用飼料の安全性確保のためのガイドライン」に基づく管理状況の確認書	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	FAMIC の立ち入り検査書	写真有

特記事項
前回の申請から新加熱基準への対応、レイアウトの変更などにより許認可変更など確実に対応されていた。
新加熱基準対応をきっかけに、アナログ管理からデジタル管理も導入されており、それに加えスタッフが新加熱基準の理解を深め応用も行っている。
通常のエコフィード製造だけでなく、プレミックス添加も行い、農家の要望に寄り添い、他のリキッドフィードとの差別化・高品質化も行われている。
高橋社長をはじめ、行政との情報交換をしっかりと行っている。また自社試験農場も展開し、新たにバイオガス施設も建設中で新たな連携・事業拡大と安定化が見込まれる。
設備トラブル発生にも耐えうるように、自社で部材も完備し整理されていた。
製造したリキッド飼料は、サンプル保管もしっかりされており、不具合発生時には投入原料まで追える仕組みになっている。
総評
代表だけでなく担当者が法令に関しても熟知しており、過去の経緯も理解している。また、各種マニュアルも写真入りで分かりやすく、通常は作って終わるところであるが、雇い入れの教育だけでなく、通常時にも教育を随時実施している点は素晴らしい。また、資料の整理が細かくされており、必要資料がすぐに提出できていた。
リキッド飼料は長く保管ができないので、飼料を安定的に出荷するための計画がとても綿密であったが、オーダー以上の出荷調整など利用農家との信頼関係があつての調整が出来ているものと推測された。
搬入される残渣も綺麗なものが多く、容器も清潔で工場内の清掃もされており、業務終了時にはフォークリフトの清掃を行ったり清潔面にも気を配っていた。
見学等も含め、随時情報を公開する姿勢は、業界の模範となる。また、社員用の昼食に自社豚肉を使った弁当などを安価に提供されており、社員の環境整備だけでなく愛社精神にもつながる活動である。
今後はバイオガス施設との連携により、コストダウンや受け入れ幅の拡大など期待ができる。バイオガスとの連携にあたり必要許認可など行政と連携されているが、処理量収支などの管理が今後重要になると思われる。